

専門部会議事内容結果（要旨）

| | |
|--------|---|
| 専門部会名 | 総務・市民生活環境・教育文化スポーツ部会 |
| 開催日時 | 令和8年2月2日 19時55分 ～ 21時15分 |
| 開催会場 | 名寄市役所名寄庁舎4階大会議室 |
| 出席委員 | 出席者：遠藤委員、今野委員、伊藤委員、守岡委員、安達委員、松本委員、清水委員、 鳥谷委員 欠席者：桑原委員、猿谷委員 |
| 事務局出席者 | 木村総務部長、石橋総合政策部長、松田市民部長、伊藤教育部長、水間大学事務局長、 遠藤消防長、谷口消防署長、東総務課長、福井市民課長、土井学校教育課長、伊藤消防署庶務課長、瀬野総合政策課長 |
| 審議事項 | <p>1 開 会（福井市民課長）</p> <p>2 主幹部長挨拶（木村総務部長） こちらの専門部会については、広範囲におよぶ部会となっている。市としては第3次総計をスピード感をもって進めていかなければならないと考えている。 策定にあたっては、部会の委員の皆様方から様々な意見をいただきながら進めていきたいと考えているので、本日は忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>3 議 事</p> <p>（1）部会長・副部会長の選出について ⇒選出方法について、委員からご意見等ないため、事務局から腹案を提案 部会長に今野 聖士 委員 副部会長に伊藤 美和子 委員、守岡 ダニエル 武雄 委員 ⇒異議なし。それぞれ決定。</p> <p>（2）第2次総合計画の進捗について ⇒資料「名寄市総合計画（第2次）の進捗状況について」を基に、本部会の所管部署の内容について、事務局から説明。 説明後委員から質問意見等を受けた。 ※所管部署の事業は別添「名寄市総合計画（第2次）施策の体系」に記載のとおり</p> <p>4 そ の 他 なし</p> <p>5 閉 会（福井市民課長） 以上をもちまして、総務・市民生活環境・教育文化スポーツ部会を終了いたします。</p> |

発言内容

○基本目標Ⅰ－１～７までの内容に関する意見等

■委員 国際交流で外国人で特定技能を持つ人を増やしていくために一般財団などをつくって参画促していくことが必要。

◎事務局 安定した人材を確保するため介護分野においてはJICAのプログラムを利用してネパールと自治体で契約している。他職種については、民間の各事業者が窓口となって受け入れているが、国の動きも見えてこない状況で民間の力の入れ方も不明。

■委員 外国人に来てもらいたいが、こどもの教育の場の提供などの問題もある。

■委員 町内会の回覧板をLINEなどのSNSにするなど伝達のデジタル化の予定は。

◎事務局 町内会側がやりたいとならないとなかなか難しいところがあるが、そのような相談もある。少しずつ進めていきたいと考えている。

○基本目標Ⅲ－１～７までの内容に関する意見等

■委員 防災の関係についてデジタルで雪害等に対応しようとする国の動きがある。前期ではないかもしれないが、後期で掲載することになると思うので情報提供しておきたい。

■委員 「のるーと」は乗り時間優先。降車時間で予約できると便利では。

◎事務局 それはタクシーの役割となる。のるーとはバスとタクシーの間の乗り物。

○基本目標Ⅴ－２～３、５～９までの内容に関する意見等

■委員 Nスポも設立、スポーツ振興を目指して、本市が有する大学、病院と連携しながら取り組んでいくべきと考える。スポーツ学科の設立も検討願いたい

■委員 医療福祉のUターンは補助が手厚いが、スポーツ部門ではなかなか名寄に来てもらえるチャンスがない。アスリートのセカンドキャリアを支援する中で指導者となれる人材の確保を目指していくべき。

■委員 文化継承でいけば、AIなどを活用し映像で歴史を伝えていく方法もある。

■委員 デジタルが今後、人のつながりの鍵になってくる。素晴らしいまちなので上手に発信をしていくことが重要。

■委員 成果指標や項目が中期と後期で同じものもあるが、全く違う施策もあるが、その考え方の違いは。

◎事務局 毎年、事業をしっかりと進めるために検証をおこなっている。KPIの設定もまだまだ未熟なところもあることから、中期から後期で入れ替えなども実施している。